

隔へだてぬ心こころ — 孟蘭盆会うらぼんえ 隔へだてなく、
限りなく — (五版)

お盆ぼんにご先祖せんぞ帰かえられる
たまの休暇きゅうかで帰かえるなど
世法せほうに当あてはめ考かんえぬ
御仏みほとけ様さまには休やすみはあらぬ
勿論もちろん弟子でしでも休やすみ無なし

それならお盆ぼんに何なにをする
墓守はかもり子孫しそんが絶たえた家いえ
迎むかえを忘わすれた家いえもある
地獄じごくの釜かまの蓋ふたさえ開ひらく
仏ぶつ子は隔へだてや差別さべつをしない
万霊伴ばんれいとものい里帰さとがえり

追慕ついぼの心こころで精霊供養しょうれいくよう
同事どうじの願樂がんぎよう 隔へだて無なし
人ひとの生いき方かた此処ここにあり
先祖供養せんぞくようは人ひとの道みち

宮城県大崎市

瑞川寺住職 木村謙文